

県民に平和な生活を返せ

沖縄はまるで戦場、県は原因究明と訓練中止を求めよ。

2月議会から



2008.03.17

相次ぐ基地被害に、沖縄はいまだにまるで戦場、と崎山さんが議長を務める平和センターなどが、現地で抗議集会をもった。中央が崎山議員。

金武町伊芸区での流弾被弾事件について

○質 問 昨年十二月金武町伊芸区で起きた銃弾の被弾事件は、米海兵隊が使用する弾丸と鑑定されているのに米軍は関与を否定、射撃訓練継続を表明し、県民の生活不安と生命を脅かしている。県は早急に原因究明と訓練中止を求めよ。

県立病院独法化問題で 社民・護憲が勉強会



公立病院の経営危機が叫ばれる中、県の進める県立病院の独立法人化問題で、県民医療を守り、公的責任を求める運動を進めるため、社民党・護憲会派は島根県立病院長仲川先生を招き勉強会を催した。



公共交通の役割と 構想について

ともに対応していないことが明らかとなった。

○質 問 県総合交通体系基本計画における公共交通の役割と構想を伺う。また、バス路線網の再構築の問題点と課題について伺う。

□答 弁 米軍演習によるものであった場合には演習中止や訓練内容の見直しを求めて行くべきと考えている。

□県警答弁 刑事事件で立件できるか検討し、捜査を通じ可能な限り真相解明を進める。

○質 問 社民・護憲の県議団と照屋寛徳衆議院議員九名はキャンパハンセン司令部を相手に、「殺人未遂、器物破損」を理由に県警に告発した。その取り扱いについて。

□答 弁 申し出の内容をその場で検討した結果、正式に告発されるには至らなかった。書類の写しを置いて行かれたことは承知している、と答弁。全く告発の意図や書類に対して、ま

□答 弁 利用者の利便性の向上を図り、都市構造の誘導、環境負荷の軽減、経済活動の活性化に寄与する公共交通システムの構築を目指している。バス網の再構築は乗り継ぎ施設の整備、ICカードの導入、バスレーンの拡充などが課題である。

「非正規雇用」救済を強く訴え

正規雇用対策について

○質問 緊急雇用対策事業は、短期的雇用に応募者が少なく、正規職員に殺到する状況がある。不安定な身分、低賃金、社会保障制度の不備など、非正規雇用への生活不安に、県の正規雇用対策の具体策を伺う。

また県庁の非正規雇用の実態、

沖縄女性財団の嘱託職員の一雇止め」の理由は何か。

○答 弁 国では沖縄若年者雇用促進奨励金、県においては各世代再チャレンジ雇用奨励金がある。また「雇用再生特別事業基金」では、事業の実施に伴い地域休職者を雇い入れた場合に一時金を支給できる。賃金職員は資料作成など職員の補助的業務であるが、年々非正規雇用が増えている。答弁では補助的業務以外にも

指定管理の見直しも

「ていする」県の部長が意向

志望する女性財団が運営の処遇について普及せず、嘱託職員解雇する県男女共同参画センター「新たな労働環境の職」も検討可能で、七人が応募

正規職員同様な業務を行う実態が伺えた。今回問題とな

「ていする」の管理運営団体に変更することに伴う嘱託職員の問題については、おきなわ女性財団において、「ていする」労働組合からの申し入れに対し、「円滑な労使関係が図られ、四月から円滑に業務を開始できる」とも検討する」との回答を得た（右上新聞）

所属会派の代表質問との関連（グアム協定）について

○質問 基地の移設について「グアム協定」を知事は評価していると思うが、その評価について再度聞きたい。

○答 弁 海兵隊のグアム移転の確実な実施のため締結されたものであると認識している。メア在総領事の（普天間飛行場の辺野古移設沖合移動を認めないとの）発言については承知しているが、名護市の求める沖合移動は政府との基本合意を踏まえ住民に配慮する観点から要求

されており、尊重されるべきだ。

土木行政について

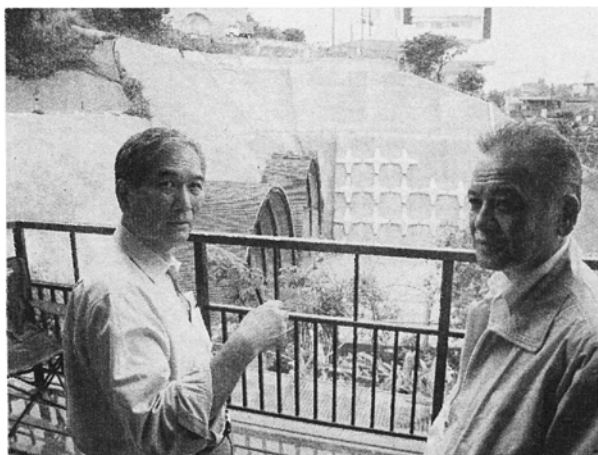
○質問 真地久茂地線の識名トンネルの進捗状況と、地域住民との話し合いについて。

○答 弁 識名トンネルは延長五五九メートル、幅員三〇メートル、四車線のメガネトンネルである。平成十八年十二月から着手、二十年には掘削が完了している。今後、舗装・照明・設備工事を実施し、平成二十一年度末の完成を目指して取り組んでいる。今後、寄宮側の付近住民を対象に騒音、交通量など説明会を開催し協力を得ていきたい。



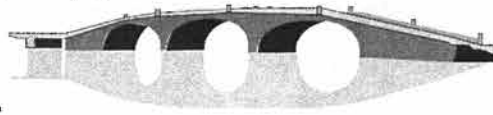
「ていする」問題で 連合ユニオンが相談

おきなわ女性財団が運営している県男女共同参画センター「ていする」の管理運営団体の変更され同財団の嘱託職員が解雇される問題で、サキ山議員は非正規の雇止めを継続雇用の義務づけを強く要求。県は、従来の管理運営制度へ戻し、雇用のあり方を検討する意向を示した。（写真は連合ユニオン労から相談を受けるサキ山議員・県議会会派室で）



識名トンネル視察。下地トシオ氏も同行。比嘉さん宅から。

かけはし



号外/崎山嗣幸版

No.68号

2009 / 11

住宅密集地に居座る危険な普天間飛行場



野党トップで知事に政策転換を迫る崎山議員

9月県議会



普天間は県外・国外への

知事に決断迫る

野党の
バツターで登壇

自公政権から民主・社民・国民新党の連立政権へ政権交代が実現した。沖縄の基地問題を前進させるための、かつてない好機だ。沖縄の県議会勢力は野党勢力が多数を占め、また先の衆院選でも普天間の県内移設反対候補が四区とも当選、自公勢力は議席をすべて失った。

このように国政や県政をめぐる政治的環境が大きく変化を遂げたいま、焦眉の課題として普天間基地の移設問題が浮上している。

崎山嗣幸さんは、先の九月県議会で野党のトップで登壇し、この政治情勢を踏まえて再質問を繰り返し、県の政策転換を知事に迫った。
(2、3面に詳報)



琉球新報社提供

普天間飛行場に配備されているオスプレイ



琉球新報社提供

嘉手納飛行場に飛来した外来機(F-35戦闘機)



極東最大級の米空軍嘉手納飛行場

10/21 国際反戦デーで「普天間」を訴える



普天間基地の 国外移設実現を!

今年の10・21国際反戦デーはこれまでになく盛り上がりがあった。普天間基地移設問題が政権交代により自公政権の辺野古移設方針を転換させ、県民意思を実現させる新たな運動として燃え広がっている。サキ山さんも沖繩平和運動センター議長として県民の先頭に立つ。

知事は「普天間」政策を転換せよ!

民意は「県外」、今こそベストの要求を



主な質問事項

- 知事の政治姿勢
- カジノエンターテインメントの導入
- 那覇空港の滑走路増設
- 新型インフルエンザの対策
- 福祉行政（子育て支援・待機児童）
- 教育行政（沖縄水産高校関連）

沖縄県議会9月定例会は9月18日～10月15日まで開かれ、サキ山議員は9月25日、野党代表質問のトップを切って登壇しました。質問は右表の通りですが、国の政権交代後初の県議会であり、米軍普天間飛行場の移設問題を鋭く追求、県民の県外移設の意思を有利に進める政治情勢の変化に、曖昧な態度に終始する知事の政策変更を迫りました。以下は主な質問の要旨。

「普天間」をめぐる知事の政治姿勢について

◇質 問 新政権に対しどのようなスタンスをとるか。また期待する点について

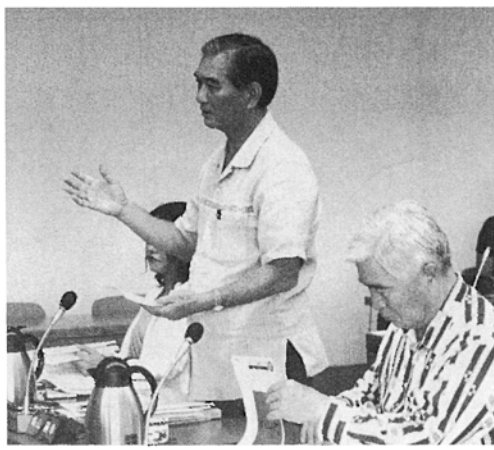
*答 弁 意見交換をして諸問題解決にとりくむ。地位協定改定に大いに期待している。

◇質 問 知事が応援した県選挙区の自公候補の全敗をどう受け止めるか。

*答 弁 県選出代議士は基本的認識は同じであり、県の発展への尽力を期待する。

◇質 問 自公政権はなぜ崩壊したのか。

*答 弁 変化を求める国民の声や、脱官僚依存・政治主導



予算委員会で質問するサキ山議員

の訴えが政権交代を果たした。

◇質 問 普天間の辺野古移設方針は転換しないのか。

*答 弁 県外移設がベストだが、早急な危険性除去には県内移設もやむを得ない。

◇質 問 日米地位協定改定

への知事の具体的取り組みは。
 *答 弁 引き続き渉外知事会等と連携し、日米両政府に改訂を求めていきたい。
 ◇質 問 核密約疑惑に対する知事の所見を聞きたい。
 *答 弁 外務大臣の調査命令は国民の理解に基づく。その推移を見守っていきたい。

カジノの導入問題について

◇質 問 県が導入を目指している目的・意義は何か。
 *答 弁 観光・雇用・税収などの効果や地域活性化が図れる。国際観光地として地位を確立する有効手段の一つである。
 ◇質 問 ギャンブル依存や犯罪多発懸念をどう考えるか。
 *答 弁 先進諸国では懸念事項の抑制は可能とされ、大きな社会問題とはなっていない。

那覇空港の現状と滑走路増設について

◇質 問 那覇空港の現状と増設の必要性を聞きたい。
 *答 弁 現状では将来需要に対応できず、県経済に大きな影響が懸念される。
 ◇質 問 事業計画と進捗状

況について聞きたい。
 *答 弁 計画段階の検討が終了し、設計三年、工事七年、概ね十年の事業期間である。
 ◇質 問 軍民共用は危険。民間専用化を追求しないのか。
 *答 弁 県は安全管理の徹底を国に求め、自衛隊機の移転を求める考えはない。

新型インフルエンザ対策について

◇質 問 患者数の状況と各医療機関との連携は万全か。
 *答 弁 関係機関の協力で医療体制を維持でき、今後は第二波の対応をお願いしている。
 ◇質 問 治療薬、防護具の備蓄状況は万全か。
 *答 弁 タミフル22万人分に加え、緊急に8万7千人分の追加備蓄を行った。

福祉行政について

◇質 問 病児、病後児保育の施設の充実が切実である。実況と拡充計画について。
 *答 弁 実施主体の9市町村、12カ所を実施する予定。今後は市町村と協議し対応する。
 ◇質 問 待機児童の実数とその解消計画は

◇答 弁 待機児童解消のため基金の活用により施設整備を行い、定員増を図る予定。
 *質 問 特養待機者の実数とその解消計画について。
 ◇答 弁 解消策として、特別養護老人ホーム359床、認知症グループホームを315床整備する。

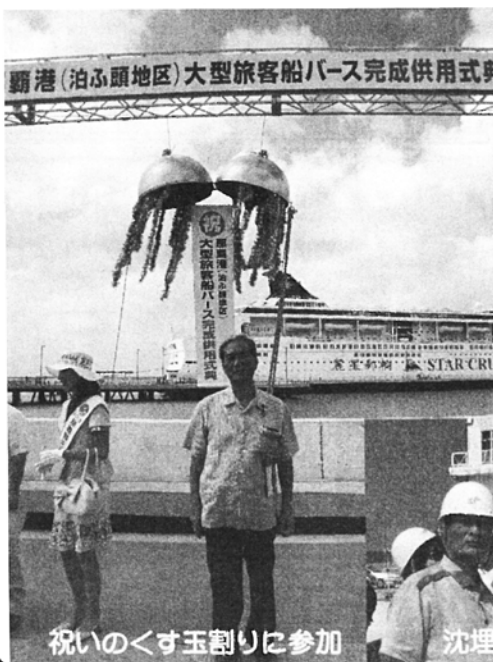
教育行政について

◇質 問 沖縄水産高校専攻科の特色、実績等について

*答 弁 専攻科は漁業科、機関科、無線通信科があり、海技士や無線通信士等の免許を取得出来る県内唯一の船舶職員養成施設である。
 また、就職率は100%となっている。
 ◇質 問 水産高校部活に関する嘆願書が提出されているが、その真意を聞きたい。
 *答 弁 嘆願書は外部指導者である現監督の留任を、父母会が要望していると受け止めている。

那覇港管理組合が建設を進めていた大型旅客船岸壁が10月22日完成し、供用式典がおこなわれた。サキ山議員も、港湾組合議会の議長として知事らとともに参加。沖縄クルーズ観光の活性化と県経済の発展に寄与するものと大きな期待がかかっている。

那覇港泊ふ頭に大型旅客船岸壁が完成



祝いのくす玉割りに参加

沈埋ドック内視察

かけはし



号外/崎山嗣幸版

No.69号

2010 / 1



昨年の12月議会で、普天間の辺野古移設について情勢と民意を見誤った知事の姿勢を強く批判。



基地なき島あきらめて、たまるかの宝の海を守れ!

宝の海を守れ!

豊饒の海・大浦湾

政権交代や県内の政治情勢も劇的な変化を遂げた昨年から、いよいよ今年は普天間の辺野古移設を断念させる正念場の年を迎えました。

崎山議員は、昨年の十二月議会で辺野古新基地建設断念を求めて発言をした。シュゴンが棲み、サンゴがきらめく宝の海を新基地建設で埋め立てさせてはなりません。大浦湾は、絶滅危惧種に指定されているシュゴンをはじめ、サンゴや海草藻場、河川やマングローフ、干潟、沼地、砂地が組み合わさり、生物多様性が育まれている。青サンゴは長さ六〇M幅三〇M高さ十二Mにわたる大群落も発見されている。このように大浦湾は、魚類の生息環境が最も豊かな多様性のある豊饒の海である。

崎山議員は環境問題の視点からも辺野古新基地建設断念を強く求めた。現在県議会会派の幹事長も担い、忙しい毎日ですが、平素からの皆様のご支援に感謝しつつ、今年もどうか宜しくお願い申し上げます。本年も皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。

サキ山 嗣幸

県政変革を担い 山積する重要課題に立ち向かう



十二月議会での質問項目 サキ山議員

- 政策転換の時期を見誤った知事の姿勢、基地の将来について
 - 郵住協への県の関わり、および解散時の協定書の履行等について
 - 地域支援センターの役割と意義、目標、補助金の保障について
 - 県消防広域化推進計画の進捗状況、趣旨、目的、問題点について
- ☆ 総務委員会…人勸の給与カットは特例カットと2重カットで不当。



記者のメモ

平和行進に復帰の思い

記者席

懸案の停滞を懸念

記者席

入居者の声受け止めよ

記者のメモ

自衛隊配備中止

記者席

活動にますます磨き、増す風格

県議活動にとどまらないサキ山さんの活動は、いよいよ重要さをましている。沖縄の平和運動の中心組織の議長はもとより港灣議会の議長職も務め県の発展に大きく尽力している。



活動にますます磨き、増す風格

かけはし

No.70号

2010/7

知事は傍観者となるな。

普天間・消費税導入で質す

去る6月議会で崎山議員は、沖縄の参院選の大きな争点となっている普天間移設問題で、知事の明確な見解が示されないこと、また、にわか争点として浮上してきた消費税導入問題について県民への影響を質した。

崎山議員は県民の生活を脅かすこれらの問題に「知事は傍観者であってはならないと怒りを込めて追求した。」

県民との約束を裏切り、日米合意を優先した新政権に対し、知事の明確な態度と見解を迫る



6月議会から

「辺野古の修正案なら賛成」から「日米合意の実現はきわめて厳しい」にまで変化してきた知事の発言。県民世論の変化も十二分に知りながら「県内移設は拒否する」となぜ明言できないのか。民意を軽視する知事への優柔不断さに県民は歯がゆさを感じています。

自民党公認で「県外」を公約する候補者の選対本部長である知事には、候補者と自民党との公約の矛盾に、県民は厳しい目を向けています。

また歴史的に侵略・沖縄戦・米軍占領の過酷な時代を強いられた県民への、「火の粉をばらまくのか」と言った「識者」の冷淡、無慈悲な認識にも怒りがおさまりません。

さらに、崎山議員はにわか争点となってきた消費税増税は「断固反対」の立場から、知事の見解を質しました。



マスコミの関心も高く...

消費税増税 反対